



ゴミの分別回収の時にご協力を！

毎月の家庭ごみの分別収集につきまして、市のルールが多少変わりました。また住人の増加もあり、現場での混雑が起きていますので、当日の混乱や事故を避けるため、以下の点につきましてご協力をお願いします。

○分別のルールを守ってください

- ①3月に配布しました『朝倉市家庭ゴミの正しいわけ方・出し方』で確認してください。
判断できないことは、市役所(環境課)にTEL等で確認してゴミ出しをしてください。
- ②スプレーカン・燃料ボンベは使い切り、穴を開けて出してください。
最近、さび取り潤滑剤、シェービングクリーム、簡易コンロ用ガスボンベに、大量の中身を残したまま置いていかれた為、現場で穴あけをした住民ボランティアの身体に噴射し、目に入ったり衣服を汚したりしました。特にガスボンベは危険ですので、使い切りをお願いします。
- ③出せる大きさは、決まっています。
60×40×30cmの、回収箱に入る大きさです。タイヤ、折り曲げることの出来ない金属の物干し竿、ゴルフクラブなどは、回収してもらえません。

○回収現場の混雑防止と近隣世帯への配慮をお願いします

- ①各家庭で分別して持参してください。
- ②スプレーカン等の穴あけは、出来るだけ各家庭ですべてしてください。
化粧品スプレー、ガスボンベなどは、現場で穴を開けると、ボランティアや周辺世帯へ匂いが掛ったり、周囲に立ち込みます。
- ③交通安全を心掛けてください。
車で来られる方は、周囲の方々や他の車との事故防止のため、運転には十分な注意をお願いします。

○高齢により免許を返上された方など、分別ゴミ出しが困難な方には対応を考えます。

西ビルにご相談してください

(福元記)

区会連絡

☆一斉清掃へのご協力のお礼と市による作業連絡

5月21日(土)に実施の『朝倉市春季一斉清掃』には、238名(193世帯)が参加されました。市道幹線の植込みの剪定と草刈は、市の業者により5月24日から順次実施されています。

☆街路樹消毒作業の連絡

市道幹線の街路樹の消毒作業は、6月1日(水)に、以下要領で実施の予定です。

- 1、期日 6月1日に実施(天候により変更になることがあります)
- 2、時間 7時～16時
- 3、場所 田代・矢野竹線、美奈宜の杜7号線(第2街区中心から第3街区入口)

作業中は薬剤の飛散が予想されます。車、洗濯物やペットについては、充分ご留意下さい。

区会 & 生活環境部会

健生病院の介護施設の応募状況

4月23日に健生病院から住民向けに説明がありました、朝倉市の介護事業/地域密着型サービス事業の公募(小規模多機能施設と認知症対応型共同生活施設/グループホーム)のその後の状況をお伝えします。

- ・5月13日に朝倉市に応募手続きがなされました。
- ・6月3日に朝倉市に対し、健生病院が計画の説明をします。
- ・6月中旬までに予定指定業者が決まります。
- ・7月上旬に最終決定されます。

健生病院が市に提出した応募申込書には、一昨年美奈宜の杜から市に出された2通の陳情書や昨年の住民が作成したパブリックコメントが添付されました。美奈宜の杜の住民からの、強い要望があることも訴えられています。また住民独自に自主介護講座を開くなど取り組みがある事も伝えられています。

以前から説明の通り、公的施設のため他の応募者がある場合は、市が設置する選定委員会の審査により市長が決定するとのことですので、建設が約束された訳ではありません。

今後の推移は、健生病院からの連絡があり次第住民向けに発信します。(福元記)

☆シルバー・セーフティ・ドライビングスクール参加者募集

朝倉警察署から、高齢運転者を対象としたドライビングスクールの参加者を募集するお知らせがきています。参加の要領は次の通りです。

- 日 時 7月4日(月)13:30～16:30
- 場 所 甘木自動車学校(朝倉市一木59-4) ※毎回講習会を開催している会場です。
- 主 催 (公益社団法人)福岡県トラック協会 (福岡県警察、JAF後援)
- 参 加 資格は、原則高齢者ですが、参加者が少ない場合は高齢に近い方でも可。
- 内 容 自車の持ち込みによる実技体験、講習
- 締切り 6月24日(先着20名程度)

参加の申し込みは、コミュニティ協議会事務局(濱田さん、轟さん)で受け付けています。

☆新入居者のお知らせ

今月はなし



-編集後記-

熊本地震の復興で、これから九州の産業には様々な影響が出てくると予想されています。特に建築業界の諸業種単価の値上がりは予想され、いつまで影響が続くかまだ判らないそうです。今回の地震では、新耐震基準で建築された住宅さえ影響を受けているとのことでした。この際、自宅の建築業者に対し、家の耐震性能を確認し対策を相談することも一考です。安全な住居に住み、安心な暮らしをするためには、自分自身の努力も欠かせません。(福元記)